

紀伊の風

令和5年（2023年）3月号
和歌山市立紀伊小学校だより

失敗した方が伸びる



一雨ごとに春の息吹が感じられ、植樹100年を迎えた校庭の「くすのき」も新芽が伸び始めています。日差しは少しずつ温くなり、花壇のチューリップも芽を出し、寒い中にも春の訪れを感じることができます。

この寒く厳しい冬の時期も、春に芽を出す植物にとってはとても大切な時期だそうです。冬の間、植物は生き抜くためのエネルギーを蓄え、じっと春を待っているのです。

この時期よく見かける野菜「大根」も、寒さで凍結しないように糖분을蓄えています。そのため、「冬の大根は甘い」といわれます。特に地表近くの冷たい外気の影響を受けた大根の上部は、より甘く、糖度が高いそうです。

ところで、学校生活でも、全てがうまくいくことはありません。時には、失敗することやうまくいかないこともあります。ところが、子どもの中には、失敗することに憶病になりすぎて、心配ばかりで気疲れしてしまう子もいます。確かに、失敗に対して不安はありますが、実は失敗するということはとても大事なことです。失敗の中には、成功するためのヒントが隠されていて、その原因を探り、方法やダメだったところを改めることで、成功に近づきます。

小学校というところは、この失敗と再チャレンジがいくらでもできる場所です。失敗は誰にでもあります。失敗したことを次に生かし、失敗にめげずチャレンジを続けることが大切です。

たくさん失敗し、たくさん再チャレンジし、たくさん成長していったほしいと思います。どうぞ、温かい見守りをお願いします。



校長 杉野 裕香子

◇出前授業「消防音楽隊」・日本伝統文化「雅楽鑑賞会&ワークショップ」

・和歌山市消防音楽隊の皆様へ、素敵な演奏と消防の様子を見させていただきました。すばやい身のこなしに歓声が上がリ、火災時の任務のすごさがわかりました。（2月10日）

・榊葉雅楽会の皆様のご協力により、雅楽の生演奏や平安の衣装にふれる機会を持ちました。6年生の子どもたちは、音楽の授業で学んだ曲と一緒に歌ったり、平安衣装を着たり、とても貴重な体験をすることができました。（2月17日）



◇卒業を祝う会(3月1日)

6年生に感謝の気持ちを込めて、各学年から発表をしました。残り少ない小学校生活の楽しい思い出の一つとなるだけでなく、みんなで力を合わせて取り組むことの大切さも味わえたと思います。また、5年生は、最高学年のバトンを引き継ぎ、次のリーダーとして、準備や発表など意欲的に頑張ってくれました。

【1年生】

【2年生】

【3年生】



【4年生】

【5年生】

【6年生】

